

平成 26 年度の活動結果

平成 25 年度中は特に活動が無かった厚別区防犯ネットワークですが、26 年度には 2 回の会議と防犯研修会をそれぞれ下記のとおり開催いたしました。

■第 6 回厚別区防犯ネットワーク会議（平成 26 年 11 月 21 日）

不審者出没時などの情報伝達方法や情報共有、また、各団体で行っている取り組みについて、様々な意見や報告がありました。

- ・不審者出没時にまちづくりセンターを經由して町内会へ情報提供できるシステムがあればいいと思う。
- ・児童にはあいさつをするよう指導しているが、知らない人には声をかけてはいけないという考え方もあり、なかなか難しいところがある。
- ・子どもの見守りを意識して、朝のごみ出しを登校時間帯に、犬の散歩を下校時間帯にそれぞれ行うようにしている。



■厚別区防犯研修会（平成 27 年 3 月 6 日）

厚別区防犯ネットワークの主催で、地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所環境科学部長の松村博文（まつむら・ひろふみ）氏を講師に迎え、子どもの安全を守るための方法などについて研修会（参加者：約 70 名）を実施いたしました。

松村氏からは、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事例の紹介があり、「地域で守っていくには防犯活動を改めて見直し、どんな活動が役立ったのか確認するとともに、やりがいのある活動だということを周りに周知していくことが必要。また、子どもたちにも、もっと防犯活動をしている人たちを知ってもらい地域とのつながりを強化することが重要。」との話がありました。

その後、防犯活動のキャッチフレーズを作ろうということでワークショップが行われ、各グループからそれぞれが考えたキャッチフレーズと理由などを発表しました。



■第7回厚別区防犯ネットワーク会議（平成27年3月18日）

前回に引き続き、不審者情報の伝達や共有、次年度の事業計画について意見が交換されました。

- ・まちづくりセンターを中継した情報伝達システムでは、土日などの勤務時間外には情報が流れないので、警察や学校は直接各町内会に流してほしいと思う。
- ・子ども地域安全マップをもっと多くの学校で実施してもらいたい。その際に町内会や防犯活動している人が一緒に行くと、あいさつ運動も兼ねることができてよい。
- ・北海道コカ・コーラとしては、地域安全マップについて、作成した小学校付近の自動販売機に貼って啓蒙することについて協力することができる。



※下記のとおり、厚別区ホームページにて会議録を掲載しております。

ホーム > 手続き・暮らしの情報 > 防犯・防災・消防 > 安全・安心なまち あつべつ > 防犯に関すること > 厚別区防犯ネットワーク > 過去の防犯ネットワーク会議
<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/bosai/kaigiroku.html>

警察情報（防犯ネットワーク会議の発言から）

平成26年になって特徴的に増えているのは「車上狙い（前年比+42件）」、「タイヤ盗難（同+60件）」、「空き巣（同+12件）」。

他に振り込め詐欺は7件発生し、被害額は2千万～3千万。振り込め詐欺対策として、警察署では電話機に迷惑電話防止のチェッカーを付ける取り組みを始めた。【第6回会議より】

今はDVストーカーが非常に多い。最近ではDVストーカー対策班という係を道警本部にも作っており、毎日のように相談が来ている。また、今年に入って特に2月以降は高齢者を狙ったオレオレ詐欺が多発している。警察署にも、高齢者宅に不審電話がきているという通報が毎日10件以上ある。振込先やゆうパックの送り先を警察が全部把握して潰したので犯人も受け取れなくなったため、今は“手渡し型”とあって、東京に呼んだり、札幌市内に受け子を入れてチームになって行っている。各金融機関には60歳以上で高額なお金を引き出そうという人がいた場合、全件警察に通報するようにお願いしている。【第7回会議より】

今後の予定（平成27年度）

- 7月 第8回防犯ネットワーク会議
子ども地域安全マップ（共栄小学校）
- 9月 防犯講演会（研修会）
- 10月 防犯パネル展（厚別区役所1階）
- 11月 第9回防犯ネットワーク会議
- 12月 防犯ネットワーク通信発行